



柴農から大産に ～ ゆく年 くる年 ～

令和7年度は、柴田農林高等学校の閉校に伴い「大河原産業高等学校川崎校」へと校名が変更された新たな出発の年です。生徒も動揺せずに落ち着いた学校生活を送ってくれました。



地域貢献 (地域が学び舎)

4月から校歌練習を行行い、5月全校生徒で校歌披露
学校ホームページで紹介しています。



探究学習「カワサキクエスト」



令和8年 生徒の成長に期待すること

学校は「自立貢献」の校訓のもと、以下の成長を期待しています。

- 主体的・自立的な態度: 学校行事や生徒会活動を自ら企画・運営し、一人ひとりが主役となって未来を切り開く力。
- 社会参画の意識: 地域のボランティア活動や特別活動を通じ、国際的視野を持ちつつ社会の発展に寄与できる知・徳・体を兼ね備えた人材への成長。



『小さな学校だからできることがある！小さな学校にしかできないことがある！』
今日も元気な川校生の活動の様子をご紹介します！！

世代間交流「しめ縄づくり」について

12月4日(木)3年生中心に川崎町社会福祉協議会、立野地区黄金会の方々を講師として招きいて、しめ縄の由来や何故に正月飾りを飾るのか、実践としてご指導をいただきました。

正月飾りの中でも、門や玄関前に飾る門松は、年神様が家へ尋ね入るにあたっての目印だとされています。一年中落葉しない松、成長が早く生命力の強い竹、新春に開花し、年始にふさわしい梅と3つの縁起物が用いられます。

しめ縄を飾ることは、その家が歳神様を迎えるのにふさわしい神聖な場所であることを示します。また、神聖な領域と現世を隔てる結界として、不浄なものや悪霊が家に入り込むのを防ぐ魔除けの役割も果たします。ご指導に基づきしめ縄づくりをおこないました。



令和8年は「丙午（ひのえうま）」の年

令和8年(2026年)は、60年に一度巡ってくる「丙午（ひのえうま）」の年です。この年は、情熱や変化を象徴し、物事を大きく広げていくエネルギーに満ちた年とされています。

また、人とコミュニケーションを取ることで、運気が上がるとされる年とも言われています。丙午の「火」には「社交性を高めて人から人へ思いを伝える」力があるとされているので、自分の考えや気持ちを言葉にして周囲に伝えることで、物事がスムーズに進んだり新しいご縁が結ばれたりといった良い結果が得られる1年になる事を期待できます。コミュニケーションを取る際には思いやりを込めて伝えるよう心掛けていきましょう。2026年の丙午は、火が重なるので力が高まり過ぎて制御できなくなる恐れもあるといわれています。衝動的に動いてしまうと、必要のない争いを生む事があるかもしれません。感情的にならず冷静に考えてから行動することが重要となる年になります。

川崎校生は人間力を高めるためにも人との関わり・対話(対話は互いの考えを深く掘り下げ、新たな理解や洞察を得ることを目指すこと)を大切にして具体的な問題解決や共通理解の深化、新たな気づきや合意形成を目指し、相手の考えや感情に深く向き合い、互いに理解を深めていきましょう。

緊急連絡先[携帯電話に登録し、事故などがあったら速やかに連絡すること]

宮城県大河原産業高等学校川崎校 0224-84-2049

※ 震度5弱以上の地震が発生した際には学校から安否確認メッセージが送信されます。必ず返信をしてください。

※ 閉庁期間【令和7年12月27日(土)～令和8年1月4日(日)】

この期間の緊急連絡先は下記の生徒保健部長直通メールアドレスまで

yanagibuchi-hi411@td.myswan.ed.jp



今後の主な予定

12月24日(水)～1月7日(水) 冬期休業

12月27日(土)～1月4日(日) 閉庁日

この期間の連絡先については上記より

1月5日(月) 御用始め

1月12日(月) 成人式

1月16日(金) 英検

1月19日(月) スクールカウンセラー来校

1月20日(火)～23日(金) 2年生修学旅行

編集後記

12月上旬 後期生徒総会が行われ3年生から後輩へバトンタッチされました。4月に校名が変わり校歌練習と学校全体を動かしてくれた3年生が卒業まじかとなりました。2年生も意識が高まり、授業や学校行事・部活動などで活躍してくれています。1年生は少数でありながら団結し協動的な活躍してくれています。令和8年を迎えるにあたり生徒・保護者皆様が飛躍的な年となることを期待します。